

新 宿 区
男女共同参画に関する区民および中学生の
意識・実態調査報告書



令和5年3月

新 宿 区

目次

I 調査の概要

1	調査目的	1
2	調査設計	1
3	調査項目	1
4	回収結果	1
5	調査報告書の見方	2

II 調査結果のまとめ

1	男女平等について	3
2	家庭生活について	5
3	女性の活躍推進について	6
4	ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について	7
5	人権について	8
6	性の多様性について	9
7	DV（ドメスティック・バイオレンス）の状況と被害者への支援について	11
8	区取組について	13

III 調査結果（区民調査）

1	あなたご自身およびあなたの世帯について	15
2	男女平等について	23
3	家庭生活について	40
4	女性の活躍推進について	46
5	ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について	50
6	人権について	61
7	性の多様性について	64
8	DV（ドメスティック・バイオレンス）の状況と被害者への支援について	76
9	区取組について	83

IV 調査結果（中学生調査）

1	あなたについて	91
2	男女平等について	93
3	男女の人権について	104
4	性の多様性について	108

V 資料編

「男女共同参画に関する区民の意識・実態調査アンケート」調査票	111
「男女共同参画に関する区民の意識・実態調査アンケート」単純集計結果	129
「男女共同参画に関する中学生の意識・実態調査アンケート」調査票	145
「男女共同参画に関する中学生の意識・実態調査アンケート」単純集計結果	151

I 調査の概要

I 調査の概要

1 調査目的

「男女共同参画に関する区民の意識・実態調査アンケート」および「男女共同参画に関する中学生の意識・実態調査アンケート」は、男女がともにいきいきと暮らせる社会の実現のために、区民および中学生の皆様から男女共同参画やワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）などについてご意見をお伺いし、今後の区の施策や取組にあたっての基礎資料とさせていただくために実施しました。

2 調査設計

調査名	男女共同参画に関する 区民の意識・実態調査アンケート	男女共同参画に関する 中学生の意識・実態調査アンケート
調査地域	新宿区	
調査対象	満 18 歳以上の区民	新宿区内在住の中学生
標本数	2,250 名	250 名
抽出方法	令和 4 年 7 月 1 日の住民基本台帳から年代別に割り当てた標本数を無作為抽出	
調査方法	郵送配布、郵送または WEB 回収	
調査期間	令和 4 年 8 月 8 日～8 月 29 日	

3 調査項目

男女共同参画に関する区民の意識・実態調査アンケート

男女平等、家庭生活、女性の活躍推進、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）、人権、性の多様性、DV（ドメスティック・バイオレンス）の状況と被害者への支援、区のと組

男女共同参画に関する中学生の意識・実態調査アンケート

男女平等、男女の人権、性の多様性

4 回収結果

男女共同参画に関する区民の意識・実態調査アンケート

配布数	有効回収数（構成比）			有効回収率
	合計	郵送	インターネット	
2,250	643 (100.0%)	490 (76.2%)	153 (23.8%)	28.6%

男女共同参画に関する中学生の意識・実態調査アンケート

配布数	有効回収数（構成比）			有効回収率
	合計	郵送	インターネット	
250	97 (100.0%)	71 (73.2%)	26 (26.8%)	38.8%

5 調査報告書の見方

- ①集計は、小数点以下第2位を四捨五入しています。したがって、数値の合計が100.0%にならない場合があります。
- ②回答の比率(%)は、その質問の回答者数(n [number of cases の略])を基数として算出しています。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100.0%を超えることがあります。
- ③クロス集計は上部分の項目(表頭:分析の対象となる質問項目)、表の左側部分の項目(表側:分析の軸)で構成し、表側の無回答は掲載しません。
- ④表側とした質問の回答者数には無回答が含まれるため、表側の回答者数を足しても調査全体の回答者数と合致しないことがあります。
- ⑤本文や図表中の選択肢表記は、場合によって語句を短縮・簡略化している場合があります。また、図表の見やすさを優先するため、0.0%の回答を表示しない場合があります。
- ⑥本調査のような標本調査の場合、標本誤差が存在します。そのため、表側とした調査回答者の属性(性別、性別・年齢別)のnが20以下の場合、標本誤差が大きくなるため分析の対象から除く場合があります。
- ⑦本文中で、比率の比較をする際には、ポイント(少数点以下第2位を四捨五入し、小数点第1位で示している)で表記しています。
- ⑧本文中で、統計数値を考察する際は、表現を以下のとおりとしています。

例	表現
80.1~80.9%	約8割
81.0~82.9%	8割強
83.0~84.9%	8割台半ば近く
85.0~85.9%	8割台半ば
86.0~87.9%	8割台半ばを超え
88.0~88.9%	9割近く
89.0~89.9%	9割弱

- ⑨本文の「前回調査」とは、新宿区が平成28年に実施した「男女共同参画に関する区民の意識・実態調査アンケート」「男女共同参画に関する中学生の意識・実態調査アンケート」、「前々回調査」とは、新宿区が平成22年に実施した「男女共同参画に関する区民の意識・実態調査アンケート」を指します。